

梅園子うめのおんこ ~~うめのおんこ~~ うめのおんこ

梅園子

春の風は暖かき

花の香は清き

鳥の音は賑き

水の流れは清き

山の色は青き

空の色は青き

雲の色は白き

霞の色は白き

霧の色は白き

雪の色は白き

氷の色は白き

霜の色は白き



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 15 vertical columns, reading from right to left. The characters are highly stylized and interconnected, characteristic of a shorthand system. The paper is aged and yellowed, with some visible creases and discoloration.

いぢの字形をあらわす

しつゝいぢなるて家近り

たしらなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

いぢなるていぢなる

しきりては人しあはれ

しんがしはのたはれ

いふはれはれはれ

おのりてはれはれ

はらりてはれはれ

あはれはれはれ

はれはれはれはれ

松浦のまなぶ宮貞宣雄也

むつはれはれはれ甲子

はれはれはれはれ

はれはれはれはれ

松浦

わらりてはれはれ

はれはれはれはれ

はれはれはれはれ

はれはれはれはれ

松海のまゝなる宮貞宣権卿  
むつまのまゝのおち甲子  
清見亀形石二も得て七六祥  
なりて了くはるる

松海

わろふに井の原井のまゝなる  
清見のまゝなる  
松一石のまゝなる  
たぬ玉のまゝなる  
清見のまゝなる  
清見のまゝなる  
清見のまゝなる  
清見のまゝなる  
清見のまゝなる  
清見のまゝなる  
清見のまゝなる  
清見のまゝなる